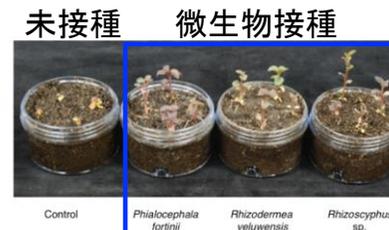


課題名

機能性微生物カプセルによる鉱山跡地・重金属土壤の緑化

プロジェクトの概要

高濃度の重金属金属元素を含む土壤は植物の生育を阻害するため、緑化が難しい。私達は、鉱山跡地に自生する植物が、根に生息する内生微生物との共生関係により金属ストレス耐性を獲得していることを明らかにしてきたが、実際の野外環境において実施された研究は世界的にもほとんどない。そこで、機能性微生物をカプセルに包括し根に処理することで、現場における鉱山跡地の緑化に貢献したい。



ビジネスモデル(申請時)

これまで蓄積した技術シーズを、在来植物・微生物・土壤の3要素を考慮に入れ、顧客のニーズと市場規模に応じて、微生物カプセルの製品化を目指す。目指す市場は、SOMは(国内鉱山、一部の海外鉱山)、SAMは国内外の荒廃地 緑化市場とする。

活動計画(申請時)

【研究開発】 これまでの研究成果(機能性微生物・在来植物・土壤)をライブラリー化するとともに、新たに機能性微生物の汎用性を検証する。また、微生物カプセルの性能評価を分析することで、微生物カプセルを実用化するための基礎データを取得する。

【ビジネスモデル】 国内外で顧客ニーズ及び市場調査を行い、潜在的な市場規模を調査することで、注力すべき研究開発ポイントを決める。さらに、市場調査で得られた結果をもとに、自身の技術の到達度を解析し、技術シーズの体系化を行う。また、知財保護等のマネジメントを精査する。